

# 京葉線への差別配転許すな！

「重力守チ葉は非除する」と(河野発言)

同時に、すでに京葉線開業に伴う労働条件を当局は全く明らかにしないことは到底容認できない。わかっていることは、構内運転を運転士の免許のある検修関係者に「限定免許」なるものを与え車両検査兼構内電運の兼掌化を行なわせようという攻撃だ。そもそも、構内運転士は高令者対策の業務としてある。しかし、その構内運転士を本線運転経験がない若年層を使って行なわせようというのだ。この攻撃は、これまでの年令態型に見合つた作業内容を抜本的に改悪するものであり、し

限定免許の導入を許すな！

また、売店関係から差し戻した九名について当局は、「配転した順番で返した」と言っているが、国鉄時代に人活から無人駅、そして営業関係へと強制配転された仲間を徹底して無視していることを断じて許さない。どこが、どう「公正な人事」なのか、当局は、人選の基準を明らかにせよ！

旧無人駅配転者は徹底無視！

また、売店関係から差し戻した九名について当局は、「配転した順番で返した」と言っているが、国鉄時代に人活から無人駅、そして営業関係へと強制配転された仲間を徹底して無視していることを断じて許さない。どこが、どう「公正な人事」なのか、当局は、人選の基準を明らかにせよ！

九月一日付の配転は、津田沼運輸区から革マル・長谷川正彦を含む五名（運転士、鉄道労連三名・国労一名・無所属一名）、千葉運輸区から三名（運転士、全員鉄産労）、習志野電車区から四名（車両技術係、全員鉄道労連）。

九月七日付は、売店関係から九名（運転士、鉄道労連六名、鉄産労一名、国労一名、無所属一名）という内容である。

しかも、革マル・長谷川正彦を配転し、新習志野運輸区を動労革マル・鉄道労連の拠点にしようという河野の労務政策が貫かれていくのである。

京葉線新習志野運輸区の  
動労革マル・鉄道労連の拠点化狙う！

九月一日、京葉線暫定開業に伴い訓練が開始された。しかし、訓練のために配転したメンバーを見れば明らかなどおり、動労千葉を排除した不当な配転である。まさに、河野がK君脱退強要事件の時にハッキリと言明したとおり「動労千葉は京葉線にはいかせない」差別を強行したのである。しかも、こうした一方的な要員運用を強行し、訓練を開始しながら、労働条件を一切提示しないという代物である。

**訓練開始に伴い動労千葉  
排除を断じて許すな**

千葉市要町二一八（動力車会館）  
(鉄電)二九三五五六・(公衆)〇四七二(22)七〇七  
No.2887

日刊  
**動労千葉**  
1988.9.8

**労働者のたたかう団結で  
右翼労戦をたたきつぶせ**

※ 指定列車  
千葉駅 7番発  
11時36分快速  
■と き 九月十一日(日) 十三時より  
■と こ ろ 東京都南部労政会館  
京浜東北線大井町下車5分  
■主 催 動労総連合・動労千葉

**せまりくる恐慌と戦争  
の危機に大衆的反撃を**

9.11 国鉄労働者集会

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！